

自動車市場の回復に先手を打ち、 技術開発とグローバル生産体制の強化を図っています。



セイフティシステムズ事業本部長
取締役常務執行役員

和田 州生

事業概要

グローバル体制で、自動車安全部品の製造・販売を行っています。

セイフティシステムズ事業では、日本(姫路工場)、北米(ライフspark社/米国:カリフォルニア、カヤク・セイフティシステムズ・デ・メキシコ(KSM)社/メキシコ:モンテレー)、欧州(インデット セーフティシステムズ社/チェコ:フセチン、ニッポンカヤクCZ社/チェコ:ヤブルンカ)の世界3拠点で自動車用安全部品の生産・販売を行っており、今後は中国での生産・出荷も開始する予定です。

当社は、創業以来の火薬製造と雷管製造とにより、点火・起爆装置および火薬燃焼に関する長い歴史と技術を持っています。これらの技術を応用展開して、エアバッグを膨らませるためのガス発生装置「インフレーター」と、衝突時にシートベルトを引き締めるための「マイクロガスジェネレーター(MGG)」、そしてそれらの点火装置「スクイブ」を独自に開発してきました。

現在、日本でインフレーターを生産し、日本・米国・チェコでスクイブを、日本・メキシコ・チェコでMGGを生産しており、グローバル市場に製品を提供しています。

2009年5月期の営業概況

自動車危機の中、新製品・新会社の立ち上げなど将来への布石を打ちました。

2007年の米国サブプライムローン破綻に端を発した金融危機が全世界に波及し、その後を追うように、自動車バブルのはじけた北米から世界へと自動車危機が拡がり、セイフティシステムズ事業も大きく影響を受けました。米国では2008年7月頃から、欧州では10月頃から、日本では12月から売上げが急減し、生産ラインの縮小などの手を迅速に打ちましたが、追いつかず、特に下期はかつてない程の苦戦状況となりました。

自動車危機は、2009年2月に底を打ち、各国の景気回復政策の効果もあり、回復を見せていますが、景気回復政策終了後の先行きは、依然として不透明な状況にあります。

当期は非常に厳しい状況でしたが、将来に向けての新しい芽も育ちつつあります。製品や生産技術に関しては、話題のエコカーに、前席エアバッグ用のインフレーターが採用されたことをはじめ、画期的なシリンダ型インフレーターの開発、サイマルテニアス・エンジニアリング(SE)の普及による生産効率の向上があげられます。生産体制に関しても、化薬(湖州)安全器材有限公司(KSH)社(中国)と、メキシコのKSM社が竣工するなど、危機対応に追われながらも将来への布石を打った年となりました。



今後の取り組み

グローバル連携により、技術強化・事業強化を図っていきます。

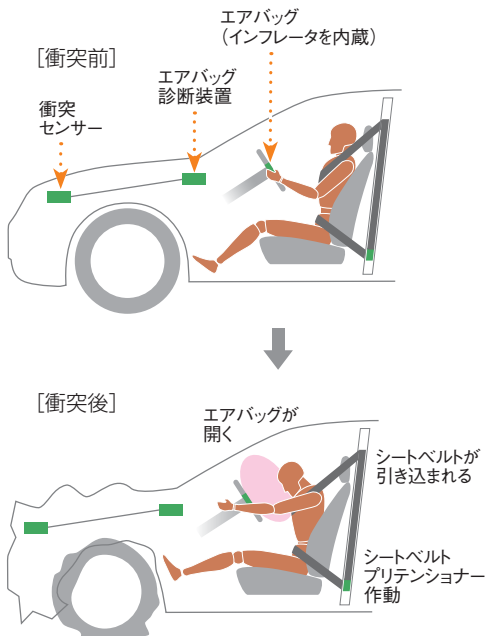
自動車販売・生産の回復は、地域によって異なった様相を示すと予測されます。当社は、各地域の状況に応じて製品を供給できるよう、柔軟な生産体制を構築します。

技術開発については、マイクロガスジェネレータ(MGG)からインフレーターへと事業主体を転換する戦略が実り始めてきたことを受け、構造設計、発ガス剤組成、点火・伝火技術など関連技術の開発と融合を強力に進めていきます。さらに、得意技術であるスクイブ、MGG

についても、国内で技術に磨きをかけるとともに、グローバルな技術協力を加えて、他社が追従できない製品開発につなげていきます。

製品供給については、2009年6月にメキシコのKSM社が生産を開始し、10月には中国のKSH社が生産を開始します。国内およびライフspark社(米国)から両社へ手厚い支援を行うとともに、インデット セーフティ システムズ社(チェコ)、ニッポンカヤクC社(チェコ)を加えた連携により、グローバルな事業強化と採算向上を図っていきます。

■エアバッグおよびシートベルトプリテンショナー作動の仕組み



■エアバッグインフレーターメカニズム(仕組み)

インフレーターは自動車の衝突時にエアバッグを膨らませるための点火・ガス発生装置です。

【作動メカニズム】

- ① 衝突をセンサーが感知し、インフレーターに電気信号が流れる。
- ② インフレーター内のスクイブ(点火具)が作動してガス発生剤が燃焼し、ガスがエアバッグに送り込まれる。



■シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータのメカニズム(仕組み)

シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータは、自動車の衝突時にシートベルトを巻き取り、体を固定する装置(シートベルトプリテンショナー)のための点火・ガス発生装置です。

【作動メカニズム】

- ① 衝突をセンサーが感知し、マイクロガスジェネレータに電気信号が流れる。
- ② マイクロガスジェネレータ内のスクイブ(点火具)が作動してガス発生剤が燃焼し、発生したガス圧力がシートベルトを巻き取る原動力となる。

